

市町村名	学 校 名 等	活動の区分	
大和高田市	大和高田市立浮孔小学校	学校支援	放課後子ども教室
(住所) 奈良県大和高田市中三倉堂2-5-43 (電話) 0745-22-0451		○	
(活動の概要) 学校支援 <p>本校では登録している127名の地域ボランティアが、学校環境整備支援活動・登下校の見守り活動・1～6年生の学習支援活動など子どもたちが楽しく安心して学校生活を送れるよう様々な機会を通じて支援を行っている。また、PTAのボランティア部を中心にボランティアを募集し、栽培活動や図書室の整理などにも熱心に取り組んでいる。今年度は、放課後を活用して、地域在住の大学生が学校で子どもたちに補習する学習の時間も回数は少ないが設定した。また、学年園で栽培している作物を、ボランティアが放課後を活用して子どもたちと一緒に水やりや丈夫に育てるための世話などをする放課後農業体験活動支援も取り入れた。体力向上に向けた取組へのボランティアの協力は、今後もさらに啓発していく必要がある。しかし、地域との連携においては、これまでの実績を活かし教育活動にボランティアを活用することがスムーズにできるように学校が日ごろから地域と関わりを強く持ちながら進めている。この取組における地域コーディネーターの役割は大きく、コーディネーターの活発な活動が事業を活性化している。</p> <p>PTAも地域ボランティアの活動を活発にするために一役をになっている。地域の各種団体とも交流を深めながら取組を進めている。</p>			

《学校支援》

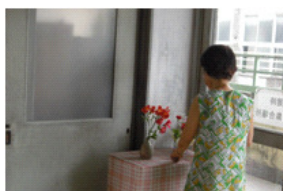
1 【実施主体】 浮孔小学校支援地域本部

2 【活動支援スタッフ体制】

コーディネーター 1人
 ボランティア登録数 127人

3 【主な活動内容】

(環境整備支援活動)	実施時期	観察池清掃と魚飼育	年間を通じてほぼ毎日実施
	植木の剪定	5月～6月	10日間実施
	樹木の消毒	12月～2月	2日間実施
	生け花	年間を通じて	30日間実施
	花苗植え	5月・11月	1週間程度実施



観察池へは、土曜日曜を問わずほぼ毎日点検に来て、水質の管理や水生植物の世話、魚の飼育をしている。子どもたちが毎朝登校すると、一緒にえさをあげたり魚の話をし



〈観察池ボランティア活動〉

たりして心を育てるための協力を得ている。

植木の剪定や校庭の掃除、花苗植え、樹木の消毒もボランティアによる協力を得て、安心して学校生活を送り、緑の木々や花等で子どもたちだけでなく保護者、地域の住民の心が和むよう気遣いをしてもらっている。

生け花は、子どもたちの心が安まるようにという思いから1ヶ月に2～3回程度ボランティアが来校し、玄関・保健室・廊下等に花を生けて、環境美化に努めている。年間を通じて学校環境に配慮していただき、活動時期も考えて自主的に協力いただいている。

〈登下校の見守り活動〉 実施時期 4月～3月 年間198日実施



〈登校見守り活動〉

毎朝、児童の登校に合わせて数カ所で立哨していただいている。このことは保護者にとっても大きな安心である。また、毎月1日に立証していただいている方もおられ、子どもたちが感謝の気持ちをもって接することができるよう指導している。

〈保健室支援活動〉 実施時期 7月～3月 年間20日実施



〈保健室ボランティア活動〉

実習を終えた大学生が、保健室でボランティア活動を希望した。初めての試みであったが、受け入れた。保健室に来る子どもたちの話を聴き、心をほぐしてくれたり子どもたちとともに活動したりしている。大学で学んだことから考えたことを紹介してくれることもあり、ボランティア自身が学びながら子どもとの関係を広げていく機会になった。来室者が多い保健室対応や行事での二人体制は非常に心強く、ボランティアのありがたさを感じた。

〈学習支援活動〉 実施時期 5月～3月 年間30日実施

校区探検引率支援(1)、土器体験学習(1)、ミシンがけ(4)、戦争体験の話(1)、音楽鑑賞支援(1)、工作支援(4)、和楽器体験(1)、理科支援(1)、プール指導支援(4)、英語活動(8)など

〈ミシンボランティア活動〉



1～6年生の学習活動の支援や体験学習のゲストティーチャーとして、また教員を援助する活動として、これまでの学校支援地域本部事業において登録していただいていた地域ボランティアが、今年度も様々な形で教育活



〈英語ボランティア活動〉



〈和楽器ボランティア活動〉

動を支援した。昨年より引き続き協力していただいた方も多く、子どもたちも気軽に声をかけたり一緒に活動したりする言動が見られ、この事業が本校に定着してきたことを強く感じた。

授業の流れを把握して丁寧に子どもたちに支援して下さるボランティアの活動は、回数を重ねるごとに感心させられることも多く、教員とボランティアとの信頼関係が深まり、その姿から学ぶことも多い。学習活動において、児童・教員・ボランティアがともに活動する場が増え、学習効果をあげることだけでなく人の輪が広がったことも大きな成果である。また、地域ボランティアの方に子どもたちの実態を知ってもらうよい機会である。

〈図書整理支援活動〉 実施時期 6月・10月・11月・1月・2月 年間5日実施

平日の午前中を利用して、図書室の本の整理や環境整備を行っている。子どもたちが本を読みやすいように工夫したり新刊図書の整理をしたりして子どもたちが楽しんで図書室を利用できるようにした。

〈放課後学習支援活動〉(放課後農業体験支援活動) 実施時期 9月～1月



〈農業体験

ボランティア活動〉

学年園に植えた枝豆の育て方について教え、栽培したものを収穫し調理するまで子どもたちとかわり支援していた。水やりや草引きなどは放課後を利用して子どもたちとともに活動し、作物の育て方についてわかりやすく教えていただけたことは、あまり栽培経験のない教員にとっては大きな力であった。



〈学習支援

ボランティア活動〉

また、放課後を利用して学力補充のために大学生がボランティアとして活躍した。回数は多くはとれなかったが、子どもたちは分からないところを教えてもらえることに安心した様子であった。